

115[月]

産業経済新聞(サンケイ)
THE SANKEI SHIMBUN.
発行所 ◎産業経済新聞東京本社2018
〒100-8077東京都千代田区大手町1-7-2
☎東京(03)3231-7111(大代表)

購読のお申し込み

0120-70-3034

<http://reader.sankei.co.jp/reader/>

配達・集金などのお問い合わせ 0120-34-4646

紙面・記事へのご意見・ご質問 0570-046460

(平日9時~18時、土曜~17時、日祝日休み)

u-service@sankei.co.jp

<http://www.sankei.com>

職業人教育を通して社会に貢献する



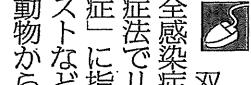
一人ひとりを大切に

犬・猫から感染症、死亡 国内初 福岡の60代女性

犬や猫などから人間にうつるときれる人獣共通感染症「コリネバクテリウム・ウルセラーンス感染症」による死者が国内で初めて確認されていたことが14日、厚生労働省への取材で分かった。厚生労働省は今月、自治体などに向けて通知を出し、情報提供を行った。

コリネバクテリウム・ウルセラーンス感染症は、家畜やペットの動物が持つ「コリネバクテリウム・ウルセラーンス菌」に感染することによって起きる。どの痛みやせきなど風邪の症状が出て、重症化すると呼吸困難などで死亡することもある。人から人にうつることはほとんどない。予防接種の効果で日本ではほとんど患者が

いない感染症「ジフテリア」に似ており、抗菌薬などで治療が可能だ。



人獣共通感染症 人間と動物の双方が共通してかかる感染症で、全感染症の半数を占めるところである。感染症法でリスクがもっとも高い「1類感染症」に指定されているエボラ出血熱やペストなど、致死率の高い感染症も多い。

動物から直接感染するだけではなく、蚊や

ダニが媒介することもある。野良猫にかまれて重症熱性血小板減少症候群(SFTS)となり女性が死亡した例や、愛玩用の鳥から感染するオウム病で妊娠が死亡した例など、身近な動物から感染して死亡する例が国内でもまれに報告される。

国立感染症研究所による調査で死したのは福岡県の60代の女性で、平成28年5月に呼吸困難で救急搬送され、3日後に死亡。血液

女性は3匹の猫に屋外で餌をやっていたといい、そこからの感染が疑われている。死亡した女性を含め北海道から九州まで25人の感染が報告されている。犬や猫を飼っていたり、接触があったりする患者がほとんどだ。英國など海外でも数例が報告されており、死者も出ている。ただ、国内では感染症法に基づく届け出義務がない珍しい感染症のため、見逃す例が報告されており、死者も出している。

初場所で協会あいさつをする日本相撲協会の八角理事長(手前中央)。一連の不祥事の処分後初の本場所だったが、謝罪などの言及はなかった

=14日、両国国技館(佐藤徳昭撮影)



車放置し避難、住民混乱 ハワイでミサイル誤警報

と説明した。

警報は午前8時7分、

「ハワイに向けて弾道ミサイルが発射された。ただちに避難を。これは訓練ではない」との内容で、ハワイ

ツターで「ハワイへのミサイルの脅威はない」と投稿し、住民の携帯にも約40分後に訂正のメッセージが送信された。

州の住民の携帯電話に送信され、地元のテレビやラジオは、人々が車を置いて避難